

協定校留学帰国報告書

記入日	2016年 7 月 20 日
所属	人文学部社会科学科
学年	4
留学先大学	インドネシア教育大学
留学開始・終了時期	2015年 9月 ~ 2016年 12月 (留学開始時期 3年次) (4カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
日本語教育プログラムを履修しており、実習を実際に海外で行いたいと思ったため。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
海外実習先が決まっており、その中でも自分で費用を賄え、かつ、自分が普段経験することのない社会を見てみたいと思ったため。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
茨城大学に留学しているインドネシア人の子に挨拶や自己紹介などを教えて貰った。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
人文学部であれば、3年後期であればほとんどの単位を取り終えていくことができます。就活に関しては試験対策などは留学先でもできます。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (○) b. 個人の保険のみ () c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい () 具体的に： b. いいえ (○)
⑦ この協定校に決めた理由を教えてください。
海外実習先が決まっており、その中でも自分で費用を賄え、かつ、自分が普段経験することのない社会を見てみたいと思ったため。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。
留学先では、日本語教育プログラムの実習授業を週1で受け、インドネシア語の授業を週3で受けていた。実習授業では論文の書き方についての指導を実際に行った。インドネシア語の授業は10人くらいの初級クラスでアルファベットの読み方から始めた。
② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
協定校でなければインドネシア語の授業は授業料がかかる。茨城大学から行けば、授業料なしで受けられる。不安なことがあれば国際交流課に行くといい。また、日本語教育プログラムについても自分で担当教員を探したりしないといけないので、自分から積極的に動いたほうがいい。また、教案を作る際に参考書が必要になるので、何か持っていくべき。
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
インドネシア語が分からなくても、授業を受けていれば日常生活で困らないほどには話することができるようになる。しかしながら、インドネシア語の授業は英語で説明が行われるので、英語もほどほどに勉強していったほうがいい。 日本語教育プログラムの実習は、コミュニケーションをとることがとても重要になる。日本語学科の子たちなので少し通じるが、インドネシア語や英語でも言い換えることができたほうがいいと思う。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
大学は茨城大学よりキャンパスが広く、博物館などもある。バンドウンはインドネシアの中でもショッピングモールがある場所であった。しかしながら日本よりは治安や衛生面でも問題はあるので、ある程度の心の準備はしたほうがいい。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮 () : 何人部屋でしたか (人) b. アパート (○) : 何人部屋でしたか (2 人) c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか (人) d. その他 () 具体的に :
③ 住環境はどうでしたか。
温水のシャワーが付いている部屋がスタンダードではない。大学から10分くらいのところで日本人向けのアパートがあり、そこは温水シャワーや洗濯をしてくれるサービスがあった。家賃は月1万5千円くらい。

④ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン () b. 主に外食 (○) c. 自炊と外食が半々程度 () d. その他 () 具体的に：
⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。
留学生とはたくさんのイベントを通してたくさん交流する機会があった。現地学生とは日本語教育プログラムでの授業や、クラブ活動などで交流を深めた。
⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。
休みの日は近くのショッピングモールや観光地に行った。長期休暇はインドネシア国内の旅行に行き、観光を楽しんだ。
⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。
初めはあまり油断せずに徐々に生活に慣れていくべき。不安なことはたくさんあるが、気をぬかなければ大きな問題には巻き込まれない。
⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
どれも日本とは違うので、とりあえず受け入れたり、挑戦する気持ちで生活していた。特にインドネシア人にとっての宗教は、生活の基盤なので異文化として受け入れるべき。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	7万	円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	覚えていない	円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	1万5千	円
食費 (月額)	2万	円
その他	2万	円
総額 (留学期間中の費用総額)	30万	円

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。
a. (○) 4年で卒業予定 b. () 卒業は延期する予定 (延長予定期間：)
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
留学中は就活の筆記対策を主にしていた。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

自分がやると決めた、日本語教育を実際に海外で実習を行えたのは大きかった。しかしながら、短期の留学であった為、もっと事前に留学先について勉強していけたら吸収できるものを増えたのではないかと思う。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

宗教についてへの理解が深まったと思う。私はほとんど無宗教に近いので、宗教を中心とした生活スタイルというものが一番のカルチャーショックであった。また、自分で情報を集め、現地の生活に適応していくことで、一人で生きる力が伸びたと思う。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学先に東南アジアを選ぶのは、勇気がいるかもしれませんが、日本で生きる限りは経験することのできない経験を確実にできます。また、現地での交流を通して日本や自分について見直すいい機会になると思うので、興味があれば挑戦してみてください。